

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390700207
事業所名	グループホーム えくせれんと鶴舞

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会には参加。近隣散歩などで顔をあわす人とあいさつをかわしている。職員が消防団に参加することで地域の防災行事に利用者とともに参加している。今年度は近隣住民むけにえくせれんと鶴舞について知ってもらうためにチラシを投函し食事会の開催を案内し、多くの人の来所が得られた。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議には協力医、民生委員、いきいき支援センター職員、町内会長がメンバーとして参加しているが、今年度はコロナ禍が完全な終息をしていないため、6回書面開催し、各メンバーには意見や情報を電話などでできるようにしている。いきいき支援センターから講師の依頼があり、今年度家族サロンで「認知症の人への関わり方、施設での過ごし方について」講演した。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 認定更新などで区の窓口を直接訪問している。研修の案内が届き、介護基礎研修、実践者研修、実務者研修に参加している。社会福祉協議会主催の事例検討会に参加し、情報交換、情報収集をしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族から面会時や電話連絡の時に必ず意見や要望をきくようにしており、要望が出されたら職員間で共有している。つるまいタイムスという新聞を発行しており、月々の行事の様子を画像でわかりやすく伝えている。休刊すると家族から再発行の要望が出る。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価								—	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎	○							

備考欄